

ツキノワグマ出没警戒情報発令中！

ツキノワグマは山間部を中心に、岐阜県のほとんどの地域で出没しています。ツキノワグマは本来臆病な動物なので、人に見つからないよう隠れて生活しています。このため、出没の報告が無い地域にもツキノワグマが生息している可能性があります。

ツキノワグマ（食肉目 クマ科 クマ属）

頭胴長 120～145cm ※頭から胴までの長さ

体高 60cm前後

体重 40～130kg

視力 あまり良くない

聴力 非常に優れている

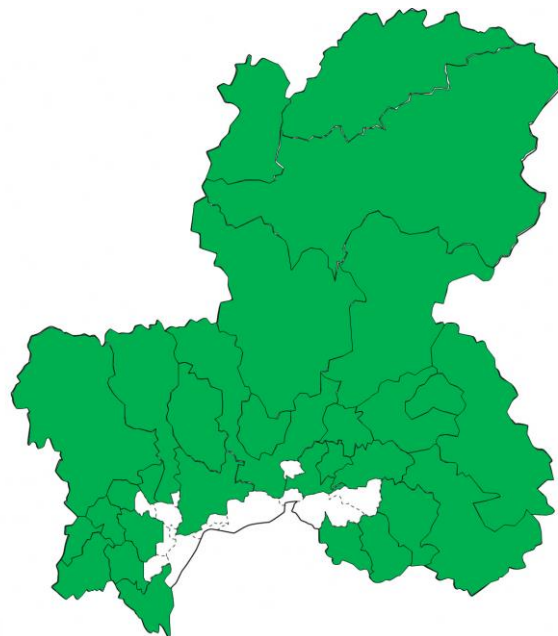
嗅覚 犬並みに鋭い

食性 雑食性

行動範囲 25～100km²

走るスピード 時速50km程度

平成19～令和4年度までにツキノワグマの出没が確認された市町村

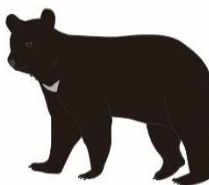


硬くて頑丈な爪



太い犬歯

頭胴長
120～145cm



体高
60cm前後

クマによる人身被害を防止するため、次のことに注意してください。

クマを寄せ付けない

- ・ 里山や住宅地周辺の藪や河川敷等の刈り払いを行い、クマの移動経路となる環境を作らない。
- ・ 生ゴミがクマの餌とならないよう、ごみ出しのルール徹底やゴミ集積場の対策を地域ぐるみで取り組む。
- ・ 住宅地やその周辺では、収穫しない放置果樹は早めに実を取り除き、又は木を伐採する等クマの餌となる果樹を残さない。

クマに出会わない

- ・ 県、市町村等がお知らせするクマの出没情報や被害情報に注意する。
- ・ やむを得ず山に入る際には、事前に出没情報や被害情報を確認し、クマ鈴やラジオを利用して自分の存在を示すとともに、複数人での行動を心掛ける。
- ・ クマの活動が盛んになると言われる早朝や夕方は特に注意する。

もし、クマに出会ってしまったら

- ・ クマは本能的に逃げるものを追いかけようとするため大声を出さず、ゆっくりと後退する。
- ・ クマが攻撃してきたら両手で顔や頭部をカバーする。
- ・ 体を丸くして地面に伏せて防御する。

鳥獣捕獲従事者、農業従事者の皆様は下記に留意してください。

□鳥獣捕獲従事者の対策

- ・ シカやイノシシ等を捕獲するためにわなを設置する際には、クマの捕獲に繋がらないよう、わなの構造に注意する。
- ・ わなを設置する前には、クマの痕跡を十分確認することとし、痕跡を発見した場合には、わなの設置を中止する。

□農業従事者の対策

- ・ 家畜の飼料はクマの餌となるため、保管倉庫の戸締りを徹底し夜間の侵入を防止する。
- ・ 農作物の収穫残渣を畑等に放置せぬよう、適切に処理する。

クママップ

県ではクマの出没情報「クママップ」をホームページで公開しています。山に入る際などは、「クママップ」でクマの出没状況を確認してください。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/4964.html>

携帯・スマホの方は、こちら▶



【クマを目撃された方は、各市町村まで情報提供をお願いします。】